

『精選 現代の国語』（現国 704） 年間学習指導計画作成のための資料

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
4	一 知らないものに出会う (話すこと・聞くこと)	ぐうぜん、うたがう、読書のすすめ ●読書の原体験を振り返る。(Aア)	6	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者にとって「読書の原体験」はどのようなものだったのか、整理する。 2 本文の「自分の人生の……巻き込まれてしまうものです。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。 3 筆者の読書に対する考え方をまとめる。 4 「数々の偶然性」によって新しい発見をした体験を発表し、話し合う。 5 グラフを手がかりに、読書の意義について話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。((3)ア)
塩トンの読書 ●本とのつき合い方について考える。(Aア)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「塩の話」と「古典」とは筆者の中でどのように結びついたのか、説明する。 2 比喩表現について、どのようなことをたとえているか、説明する。 3 筆者の考えを元に「読書の楽しみ」について話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ① 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。(Aア) ② 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。(Aイ) ③ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(Aウ)		
学びを広げる “この一冊”を伝え合おう コラム 読書は対話 ●これまで読んだ本、これから読んでみたいと思っている本から一冊を選び、本の魅力や本への期待について語る。(Aア・イ・ウ)		◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 紹介したい本を選ぶ。 2 伝えるための準備をする(メモ作り)。 3 “この一冊”を伝え合う。 4 “この一冊”を伝え合おうを振り返る。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・読書の意義と効用について進んで理解を深め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し、学習課題にそって発表しようとしている。 言語活動例 ア 自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動。 エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する活動。		

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
5	二 相手のことを考える(書くこと)	水の東西	8	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 筆者は、「鹿おどし」と「噴水」とを、どのようなものとして捉えているか、本文中の対句的表現を手がかりに整理する。</p> <p>2 筆者が『鹿おどし』は、「……いえるかもしれない。」という理由を、本文の内容にそってまとめる。</p> <p>3 この文章の構成や展開の特徴を指摘し、その効果について話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) ・文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。((1)オ) ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。((1)カ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。((2)エ)
		言語は色眼鏡である		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「世界は……ものである」とはどういうことか、わかりやすく説明する。</p> <p>2 英語の単数・複数の区別について、筆者が取りあげている具体例を整理する。</p> <p>3 「外国語を学ぶ目的」を筆者はどのように述べているか、まとめる。</p> <p>4 本文の「牛肉」の例のように、日本語と他の言語とで、区別の仕方が違う例を探し、発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>思・判・表</p> <p>① 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</p> <p>② 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ)</p> <p>③ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときにも、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。(Bウ)</p> <p>④ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(Bエ)</p>
		学びを広げる 日本のお祭りはどういうものですか？ 〈生徒作品〉身近な日本文化を紹介しよう		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「日本のお祭りはどういうものですか？」を読んで気づいたこと、考えたことを発表し合う。</p> <p>2 「日本のお祭りはどういうものですか？」で指摘された点に留意して、問題例文を書き直す。</p> <p>3 生徒作品例「折り紙」の構成や表現の仕方、話題や内容について気づいたことを発表する。</p> <p>4 生徒作品例「折り紙」を参考に、各自で紹介文の読み手を想定した上で、六〇〇字程度で身近な日本文化についての紹介文を書く。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、自分の考えが的確に伝わるよう、粘り強く根拠の示し方や説明の仕方を考え、課題にそって表現の仕方を工夫して紹介文を書こうとしている。 <p>言語活動例</p> <p>イ 読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする活動。</p>
●相手のことを考えて、内容や表現を工夫して紹介文を書く。(Bア・ウ・エ)					

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	
6	三 情報社会を生きる(読むこと)	ネットが崩す公私の境	6	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 活版印刷術の成立以降、「著者」はどのような存在であったか、本文からまとめる。 2 インターネットを中心とする電子メディアが登場したことによって、どのような大きな変化が起こっているか、本文からまとめる。 3 インターネットなど電子メディアの普及によって起こる問題にはどのようなものがあるか、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。((1)オ)	
		「選べる社会」の難しさ		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「ケータイやインターネット」における「選択」とはどのようなことか、本文から具体的な例をあげて説明する。 2 本文の「この『責任』の問題は、選択の自由と大きく関わっている。」とはどういうことか、説明する。 3 「インターネットは民主主義を危うくする可能性をもつとも言われている。」とあるが、それはなぜか、説明する。 4 筆者の言う「『選ばざるをえないこと』の困難さ」とはどういうことか、話し合う。 5 「選択に失敗した場合」について、具体的にどういことが考えられるか、例をあげて話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		思・判・表 ① 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(Cア) ② 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。(Cイ)
		情報と身体		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文に「ここには二つの意味が含まれている。」とあるが、「二つの意味」をそれぞれまとめる。 2 本文の「情報に意味を与えるのはこの身体を通してしかありえない」とはどのようなことか、本文を手がかりに考え、具体例を交えて説明する。 3 私たちの生きる世界は、インターネットやSNSの普及によって、広がったのか、狭くなったのか、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		主 ・文章の内容や構成、論理の展開などについての的確に捉え、要旨や要点を把握し、学習課題にそって文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、自分の考えを深め、批評しようとしている。
		学びを広げる 情報社会について考える		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 この単元の三つの文章を読み比べ、それぞれの文章が現代の情報社会をどのように捉えているか、考える。 2 教科書に掲載されている統計資料を参考に、現在の情報社会の課題や可能性について、自分の経験をもとに話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		言語活動例 ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする活動。 イ 異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動。

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
7	四 言葉を見つめる(書くこと)	辞書は生きている	6	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「まじ」「うざい」「がち」「めっちゃ」「はんばない」の意味、使用例について調べる。</p> <p>2 「名詞＋る」の例をあげる。</p> <p>3 気になる言葉について、複数の国語辞典を読み比べ、気づいたこと、おもしろかったことを話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(2)イ) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ)
		アガルとノボル		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 国語辞典で「アガル」「ノボル」を引き、どのような意味や使い方が説明されているか、複数の国語辞典を比べる。</p> <p>2 本文を参考に、意味が似ているが使い方が異なる二つの言葉を探し、その意味や使い方について、国語辞典を調べて発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	
		学びを広げる オリジナル辞書を作ろう コラム 言葉の海の航海		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 日常生活で使ったり見聞きしたりしている言葉で、興味深いと思う言葉を集める。言葉だけでなく、どのような場面でどのように使われているか、よく観察し、メモを取っておく。</p> <p>2 集めた言葉について、その意味や使い方、用例を原稿用紙にまとめる。複数の国語辞典の書き方を参考にする。</p> <p>3 原稿をグループで発表し合い、質疑応答をする。</p> <p>4 話し合いを参考にして、原稿を推敲し清書をする。原稿は、見出し語の五十音順に並べ、オリジナル辞書としてまとめる。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	
			<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解や表現に必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにし、自分の考えが的確に伝わるよう、粘り強く説明の仕方を考えとともに、学習課題にそって表現の仕方を工夫し、整理してまとめようとしている。 <p>言語活動例</p> <p>ウ 調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる活動。</p>		

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
9	五 ワールド・カフェ (話すこと・聞くこと)	<p>大切な会話—ワールド・カフェへの招待</p> <p>●問題解決に必要な知恵と創造性を引き出す「会話の力」を認識する。(Aオ)</p> <hr/> <p>学びを広げる ワールド・カフェをやってみよう コラム 問題を発見するための「寝返り」理論</p> <p>●私たちの身近な問題の中から「大切なテーマ」を発見し、ワールド・カフェを開催する。(Aウ・エ・オ)</p>	6	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本文にある「集会的な知恵」とはどのような知恵のことか。次の言葉を手がかりに考え、説明する。 ・「ワールド・カフェの会話は、……前提として設計されています。」</p> <p>2 筆者のいう「大切な会話」とは、どのような会話のことか、説明する。</p> <p>3 コミュニケーション・ネットワークの発達によって目に見えるようになった「私たちの集团的な苦境」について、話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <hr/> <p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 私たちの身近な問題の中から、問題解決に向けて話し合うべき「大切なテーマ」を発見し、発表する。</p> <p>2 「大切な問い」の中から一つを選んで、それをテーマにしたワールド・カフェを開催する。 ①企画・運営チームをつくる ②ワールド・カフェを企画する ③役割分担を決める ④事前準備を進める ⑤ワールド・カフェを開催する</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。(1)イ ・推論の仕方を理解し使っている。(2)ウ</p> <p>思・判・表</p> <p>①話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(Aウ) ②論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。(Aエ) ③論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。(Aオ)</p> <p>主</p> <p>・話し言葉の特徴や役割について理解し、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して、学習課題にそってワールド・カフェに参加し、進んで自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>言語活動例</p> <p>ア 自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動。 ウ 話合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするための議論や討論を、他の議論や討論の記録などを参考にしながら行う活動。</p>

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準		
10	六 思考の枠組みを広げる(読むこと)	「見える文化」/「見えない文化」 ●異文化理解に欠かせない視点を獲得する。(Cア・イ)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「見える文化」と「見えない文化」が「表裏一体」となっている具体例をあげ、「冰山モデル」の図を使って説明する。 2 「見えない文化」を意識することが重要になるのはどのような場面か。「大相撲」の例を手がかりに話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。((1)オ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。((2)イ) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。((2)エ)		
		ありのままの世界は見えない ●「見る」とはどのようなことか、事例をもとに考察する。(Cア・イ)		◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文にある「人は、自分たちの文化的な文脈の中にあるものしか見えないのである。」とはどのようなことか、「白人の衛生監視員」「村人」それぞれの場合に即して説明する。 2 本文中で紹介されたマーシャル・マクルーハン、ティンバーゲン、オリヴァー・サックスの話は、筆者の主張を展開する上でどのようなはたらきをしているか、考える。 3 「ありのままの世界を、見ることはできない」のはなぜか、筆者の考えをまとめる。 4 自分の体験を手がかりにして、「ありのままの世界は見えない」という筆者の主張について、どのように考えるか、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		思・判・表 ① 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(Cア) ② 文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。(Cイ)	
		コインは円形か ●レトリックの意味を理解し、視点を変えることの重要性を学ぶ。(Cア・イ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 三つに分かれた文章の、それぞれの部分の要旨をまとめる。 2 本文の次の部分はどのようなことをいっているか、わかりやすく説明する。 ①「論理的に、二つの面は同格だと言うべきであろう」 ②「人間の認識一般は、ある立場からの有限のアプローチである」 ③「レトリックは発見的認識への努力に近い」 3 筆者のいう「レトリック」とはどのようなものか、まとめる。 4 筆者の言う「精神硬化現象」とはどのようなことか、身近な例をあげて話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。			主 ・文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、学習課題にそって相互理解を深めるために今何が必要か意見文を書き、進んで自分の考えを深めようとしている。
		学びを広げる 相互理解を深めるために、今何が必要か考えよう ●三つの文章を読み比べ、相互理解を深めるために今何が必要か、意見文を書いてみよう。(Cイ)		1 三つの文章を読み比べ、そこで提起されている問題をふまえ、「相互理解を深めるために今何が必要か」というテーマで六〇〇字程度の意見文を書く。			

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
11	七 科学技術と人間 (書くこと)	人がアンドロイドとして甦る未来 ●アンドロイドの登場がもたらす新たな問題について考察する。(Bア・イ)	8	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「アンドロイドが可能とする特別な魔法」とは何か、説明する。</p> <p>2 「アンドロイドとして甦らせることは、写真や映像の記録を残すことは本質的に異なる」とはどういうことか、説明する。</p> <p>3 筆者の提起している「私たちの社会はアンドロイドとどのように付き合っていくべきなのか」という問題について自分の考えをまとめる。</p> <p>4 「人がアンドロイドとして甦る未来」について、どのように考えるか、話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・推論の仕方を理解し使っている。(2)ウ) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ) ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。(2)オ)
		人間にできて機械にできないこと ●機械の認識と人間の認識の違いを考える(Bア・イ)		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 人間と「機械・ニューラルネットワーク」とでは、椅子の認識についてどのような違いがあるか、本文から整理する。</p> <p>2 「私たちが世界を認識できるのは、私たちが『身体』をもつからである」とあるが、どういうことか説明する。</p> <p>3 「人間にできて機械にできないこと」には、どのようなことがあるか、その理由も含めて話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>思・判・表</p> <p>① 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</p> <p>② 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ)</p> <p>③ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。(Bウ)</p> <p>④ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(Bエ)</p>
		学びを広げる 調べたことをレポートにまとめてみよう (生徒作品)AIは仕事の未来を変えるのか ●科学技術の発展が、私たちや私たちの社会をどう変えるか調べ、レポートにまとめてみよう。(Bイ・ウ・エ)		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 ロボットや人工知能、情報通信などの科学技術の発展が私たちや私たちの社会をどう変えるか、図書館やインターネットを利用して調査し、その結果を一六〇〇字程度のレポートにまとめる。</p> <p>①問題を設定する。 ②資料を集める。 ③資料を分析し結論をまとめる。 ④構成表を作成し、執筆する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、学習課題にそって表現の仕方を工夫してレポートをまとめてようとしている。 <p>言語活動例</p> <p>ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する活動。</p>

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
12	八 マイクロディベート (話すこと・聞くこと)	自然をめぐる合意の設計 ●多面的思考という観点から、合意形成のための「設計」について考える。(Aア)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文にある「遠景の語り」「近景の語り」とは、それぞれどのようなことか、説明する。 2 「『都会の人は……暮らしているんです』とはどのようなことか、具体例をあげて説明する。 3 「そうした語りをもつ多面性や多様性はいかにして担保されるのだろうか」とあるが、この問いについて筆者はどのように考えているのか、説明する。 4 「自然保護」をめぐる意見が対立している問題には、どのようなものがあるか。新聞や書籍、インターネットで調べて発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。(1)ア) ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。(1)イ) ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) ・話の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(2)イ) ・推論の仕方を理解している。(2)ウ) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。(2)エ)
	マイクロディベートとは ●ディベートについて理解を深め、「論理の力」について学ぶ。(Aオ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 ディベートの特徴を理解する。 2 立論作成のポイントを理解する。 3 マイクロディベートの実際について理解する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ① 実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。(Aア) ② 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。(Aイ) ③ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。(Aエ) ④ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。(Aオ)		
	学びを広げる マイクロディベートをやってみよう (資料)ヒグマとどう共生するか ●野生動物と人は共存できるか、マイクロディベートをとおして考えよう。(A イ・エ・オ)	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 次のテーマでディベートの立論を作成し、実際にマイクロディベートを行う。 ・人里に出てきた野生動物は猟銃や箱わなで駆除すべきである。 2 マイクロディベート体験をふり返り、どのような感想をもったか、何を考え、何を学んだか、まとめる。 3 マイクロディベートをふまえて、「野生動物と共生するには」というテーマで意見文(八〇〇字程度)を書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、論点を共有して考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を積極的に工夫し、学習課題にそってマイクロディベートに参加し、考えを深めようとしている。		
				言語活動例 ア 自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動。 エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する活動。	

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	
1	九	生物と無生物のあいだ	8	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 本文の「生命という名の動的な平衡」とはどうか、整理する。</p> <p>2 「これを乱すような操作的な介入を行えば、……ダメージを受ける。」とあるが、「操作的な介入」にあたる体験を本文から抜き出して、整理する。</p> <p>3 私たちの社会で「操作的な介入」にあたる事例を調べ、発表し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・推論の仕方を理解し使っている。(2)ウ) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ) ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。(2)オ) 	
		ヒトゲノムの意義		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 第一項「ヒトゲノムは、人類の遺産である。」とあるが、この原則で「財産」ではなく「遺産」という言葉が用いられたのはなぜか、説明する。</p> <p>2 「人はゲノムのみによって存在が決定されるものではない」とあるが、生命倫理委員会が原則第一にあえてこのような項を設けた理由は何か、説明する。</p> <p>3 生命倫理とは何か、生命倫理をめぐる問題にはどのようなものがあるか、図書館やインターネットを利用して調べ、発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>		
		命は誰のものなのか		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「この事件にフランスの人々は衝撃を受けた。」とあるが、どのような点に衝撃を受けたのか、考える。</p> <p>2 「カレン・アン・クインラン事件」とはどのような事件か、本文の記述を要約する。</p> <p>3 筆者は「命が尊いゆえん」をどのように考えているか、筆者の経験をふまえてまとめる。</p> <p>4 本文をふまえて、「命の尊さ」について、自分の考えたことを発表し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>		<p>思・判・表</p> <p>① 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</p> <p>② 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ)</p> <p>③ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。(Bウ)</p> <p>④ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(Bエ)</p>
		学びを広げる 小論文を書いてみよう		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 テーマについて調べ、考えを広げる(調査&マッピング)。</p> <p>2 考えをまとめる(構想メモ)。</p> <p>3 文章にする(下書きの執筆)。</p> <p>4 推敲する(見直しと修正)。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>		
			<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、目的や意図に応じて、粘り強く文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりし、学習課題にそって小論文を書き、考えを深めようとしている。 			
			<p>言語活動例</p> <p>ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する活動。</p>			

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
2	十 多文化共生社会と「私」 (読むこと)	対談「国際貢献」ではなく「国際協力」である コラム ガンベリ砂漠を目指せ ●発言者の意図を的確に捉え、問題を共有する。(Cア・イ)	6	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「『貢献』ではなく、『協力』なんですよ」とはどういうことか、対談の内容に即して説明する。 2 「対談」という表現形式の特徴について、具体的に指摘する。 3 次の問題について、具体例をあげて話し合う。 ・私たちにできる「国際協力」 ・私たちの身近にある「多文化共生」 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。((1)オ) ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。((1)カ) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・推論の仕方を理解し使っている。((2)ウ) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。((2)エ) ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。((2)オ)
		共生社会で求められる「相対的よそ者」の視点 ●「相対的よそ者」とは誰のことか、自らに問いかける。(Cア・イ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「このような『評価』の……免れていない」とあるが、どういうことか。「評価」が何を指しているのかわかるように、説明してみよう。 2 「『相対的よそ者』という見方を身につけ、実践する」とはどのようなことか、説明する。 3 「新たな創造の契機にもなる」とあるが、「新たな創造」とはどのようなことか、次の言葉を手がかりに話し合う。 ・「だが、それが『自然の衝動』……可能なはずである。」 ・「アジエは『よそ者＝外国人』……と批判する。」 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ①文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(Cア) ②文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。(Cイ)
		グローバリゼーションの光と影 ●グローバル化する社会とどう向き合うかを考える。(Cア・イ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者がグローバリゼーションとナショナリズムが「相互に高め合う補完関係」にあることの例としてあげているものを整理する。 2 筆者は、「ナショナリズムとグローバリゼーションの対立」という現象が存在する理由を、どのように説明しているか、まとめる。 3 「グローバリゼーションの被害者は……を唱える」について、筆者の考えをまとめる。 4 「どちらか一方に肩入れするという議論は、その構図自体が不毛」であると筆者が考えるのはなぜか、理由をまとめる。 5 「グローバリゼーションとナショナリズムの対立」として議論される事例にはどのようなものがあるか、図書館やインターネットで調べ、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、進んで内容や書き手の意図を解釈し、学習課題にそって図やグラフなどを効果的に用いて発表し、考えを深めようとしている。 言語活動 イ 異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動。

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
3		学びを広げる ポスターセッションで発表しよう ●図やグラフなどを効果的に用いて、調べてまとめたことを発表しよう。(Cア・イ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 「多文化共生社会の実現に向けて」というテーマでポスターセッションをする。 1 四、五人のグループに分かれ、題目や内容を検討し、関連する資料や情報を集めてポスターを作成する。 2 グループごとにメンバーの中から発表担当者を決める。他のメンバーは進行や質問対応などを担う。 3 ポスターセッションは二部制とし、前半に発表するグループと後半に発表するグループとに分けておく。前後半ともに、発表をしないグループが聞き手となる。 4 教室の中にブースを作り、五分で発表し、五分で質疑応答を行う。発表開始前に、聞き手はポスターを見て回り、関心のあるブースで発表を聞く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	